



日本プライマリ・ケア連合学会  
近畿ブロック支部



発行人：雨森 正記  
事務局 〒550-0001 大阪府大阪市西区  
土佐堀1-4-8 日栄ビル703A  
あゆみコーポレーション内  
Tel.06-6441-4918 Fax.06-6441-2055  
E-mail [jpca@a-youme.jp](mailto:jpca@a-youme.jp)  
HP <http://www.primary-care.or.jp/primarycare-kinki/index.html>

ニュースレター No.43 (2024.3)

## 特集1：近畿の話題（今回は滋賀からです）

### グループ診療から親子診療への引越し ～冬の福知山より～

大西規史（浅井東診療所／長浜市、大西内科医院／福知山市）

浅い東診療所は、関西家庭医療学センターの基幹施設であり複数の家庭医が集まる無床診療所です。この5年では最大9名を要し、グループ診療を行ってきました。基本的には主治医制ではないため、他の医師が計画した検査の結果を説明することもあれば、お会いしたことない方の夜間の緊急往診に呼ばれることもあります。病棟のチームリーダーの経験はあったものの、主治医として週末も病棟に通い詰めていた病院勤務時代からのギャップも大きく、赴任時にはグループ診療の様々な葛藤を経験しました。

ところが、この環境が家庭医の醸成のために極めて重要であることに徐々に気がつきます。“良かれ”と思ったことが、本当に良いかどうかはわからない。この当たり前である事実を、患者さんを通して、そしてこの構造の中で学んでいくことになりました。それぞれの医師が長所を惜しみなく発揮し合い、触れる世界はどんどん広がりました。相互作用の中から新たな可能性が生まれ、次なるステップへ、螺旋階段のように診療所全体としての成長を感じられました。輪が広がり、多職種を巻き込み、他施設を巻き込み、気がつけばその輪はどんどん大きくなっていきました。PCCMではありませんが、他の医師自身を深く知ることで、その強みはさらに大きなものになっていきます。ひとりでやるよりも、みんなでやった方が遠くへ行けることを、身をもって学ぶことができました。

一方、実家の大西内科医院は町の小さなクリニックです。祖父が56年前に立ち上げ、父が引き継いで30年になります。父は、祖父から引き継ぐ際のギャップが大変だったために、私への引き継ぎの際には自らの引退を考えていたようです。しかし、私は家庭医であり、グループ診療の強みを知っています。もちろん現代の医学の知識は私の方があって、体力だって負けません。それでも父には敵いません。同じ場所で30年、本気の継続性を発揮してきた父にしか見えない世界があると思います。父を引退させない親不孝者ではありますが、大西内科医院が少しでも誰かの力になれるよう、これからは親子診療の強みを発揮していきたいと思っています。



上級医も専攻医も親も、みんな仲間です。ただ一つの正解を見つける医療ではなく、手を取り合って助け合う“あたたかな医療”を、これから30年歩いていく決意です。これまでのつながりも、新たな関わりも大切に、仲間が増えていくといいなと楽しみにしています。

ということで、私も新たなスタートラインに立ちました。近畿ブロックの先輩方の仲間に入れていただき、改めて後輩のみなさんの成長も応援したいと思います。何かあれば遠慮なくお声がけください。きっとお互いの力になるはずです。

## 特集 2 : 第 37 回 JPCA 近畿地方会 in 和歌山

廣西昌也 (第 37 回近畿地方会大会長/和歌山県支部長)

2024年11月17日(日)、「～人をつなぐ、心をつむぐ～ インテグラルな地域医療をめざして」をテーマに日本プライマリ・ケア連合学会第35回近畿地方会を和歌山市の和歌山城ホールで開催いたします。医療が細分化され、個々のテーマにおけるデータや知見は蓄積されていく一方、社会全体として、あるいは個人の中で病がもたらす意義について統合的に捉えることは重要でありながら難しい課題です。JPCAは数ある医学系学会の中でも、このテーマを考えるのに最もふさわしいと思いますし、さらに、特別講演では僧侶でスピリチュアルケア学会の重鎮である大下大圓長老に「プライマリ・ケアにおけるスピリチュアルケア」というテーマでお話いただく予定ですので、医療、社会、人間について包括的に考えていただき、「心をつむぐ」機会にしたいと考えています。看護師、薬剤師、リハビリテーション技師、医師会、地域病院など多方面の方々に協力をいただきながら、若い会員もベテランの会員も学び楽しめる会にしたいとスタッフ同意気込んでおりますので広く参加いただけますようお願い申し上げます。

会場の和歌山城ホールは和歌山城を目の前に望むことができ、会場からもセッションの間に紀州徳川家の城郭をご覧になることができます。JR和歌山駅、南海和歌山市駅のほぼ中間にあり、どちらからも徒歩圏内にありますので是非現地に足を運んでいただければ幸いです。現地にお越しになれない方も、Web配信で内容をご覧いただいて、内容を是非共有ください。今回一般演題については敢えてWeb上でのデータ配信のみとしました。発表会場に行けなかったり、リアル配信の時間に都合が悪くと、せっかく見たい演題があっても参加がかなわないということがあります。学会のWebページ上で発表内容を視聴し、それ



に対していつでも質問や意見を書き込める工夫をする予定です。それにより他施設の会員と意見を交わし合い、気軽に「つながって」頂ければと期待しています。大会HPは4月ごろにオープンする予定ですので、メールなどでアナウンスしますので、是非ご覧になってください。



第 37 回近畿地方会ポスター



Youtube 第一報

## 報告:P-FES 2024

### (第16回近畿家庭医療・総合診療専攻医ポートフォリオ発表会)開催!

合田建 (神戸大学医学部附属医学医教育推進センター/神戸市)

2024年2月23日に行われたP-FES (Portfolio festival)が大盛況で終わりました。去年度に引き続き、oViceを用いた完全オンラインで開催し、近畿ブロックだけでなく、全国から数多くの多職種や医学生・初期研修医にご参加いただきました。「年々進化するこの会の運営ノウハウを全国に!」という思いから、全国から多職種を含めて運営メンバーを募り、総勢27名で当日開催までの準備を進めてきました。

詳細事例報告書の提出者は多職種を含め49名、詳細事例報告書を評価して下さった指導医は42名、1枚の詳細事例報告書につき所属プログラムを超えた3名の指導医・評価者からフィードバックを受け、評価が高かった方を中心に大会場での発表とさせていただきます。今年は専攻医1年目の詳細事例報告書の質が高く、近畿全体のポートフォリオ指導が充実してきていることが示唆されました。

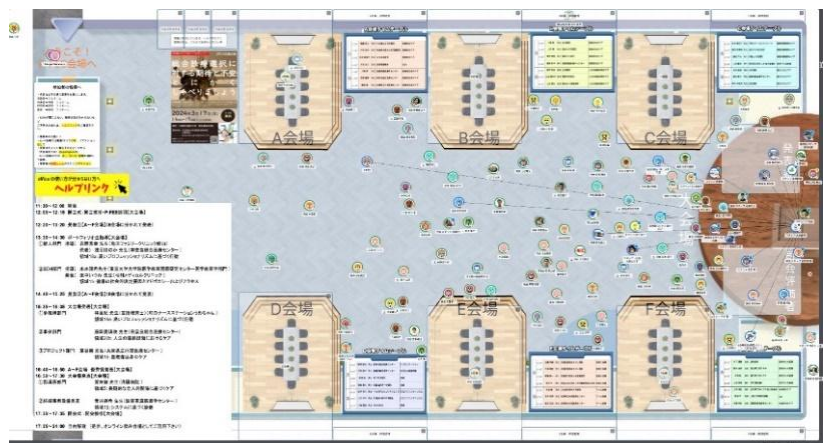
大会場では詳細事例報告書が優秀な事例・プロジェクト部門だけでなく、多職種部門として言語聴覚士による「高いプロフェッショナリズムに基づく行動」、指導医部門として「長期的な全人的関係に基づくケア」等も披露されました。

特別企画では亀田ファミリークリニック館山副院長の岩間秀幸先生と東京大学大学院医学教育国際研究センター医学教育学部門の水本潤希先生にそれぞれ新人部門とSDH部門の生指導を披露してもらいました。

当日座長・評価を担当して下さった指導医も25名で、例年よりも質疑応答の時間を長く確保したこともあり、6列同時並行の各会場でもレベルの高いショーケースポートフォリオの発表、振り返りがなされていました。

前回のニュースレターでも秋季セミナーの報告 [kinnki\\_12 \(primarycare-japan.com\)](http://kinnki_12(primarycare-japan.com)) をしましたが、参加者・発表者の声を取り入れ、毎年ブラッシュアップをしてきた結果、歴史のある大会になっております。

現在は詳細事例報告書の提出者や評価者へのフィードバック、当日評価をうけたフィードバックなどの作業が残っておりますが、沢山の方々のご協力が無事開催できたことに感謝いたします。運営を通じて各個人がリーダーシップを果たしてくれた運営メンバーにも大感謝です。是非、引き続き、近畿ブロックの家庭医療・総合診療を盛り上げるご協力を、可能であれば運営委員としてご協力頂ければ幸いです。





## 活動報告

### 山東省（中華人民共和国）出身看護師と日中卓球対決！

白浜はまゆう病院・国保直営川添診療所（西牟婁郡/白浜町） 竹井 陽

前回（2023年6月発行）の私の“山東省出身看護師と共に働くことができ”の News-Letter を読んでいただけでしょうか、今回はあの中華天使 紀子さんが帰国してからの続編を書きたいと思います。あらためて簡単に当院の紹介をしますと、当院は和歌山県南部の通称紀南地域にある 200 床程度の Care-Mix 病院です。急性期病棟・回復期リハビリ病棟・介護医療院また公設民営の付属診療所（私の勤務する川添診療所など）を幅広く運営しています。今までの病院幹部の努力のおかげで中華人民共和国 山東省からの看護師を常に数名迎えて 彼女ら彼らが毎日懸命に当院で奮闘してくれています。今日紹介するのは 手術室に勤務する譲君（仮名）の話です。譲君は 中国出身の男性看護師として 初めて当院に赴任してくれました。もちろん当院にまず看護助手として勤務しながら日本語検定 N1 と日本の看護師国家試験を突破しての看護師としての勤務開始でした。

紀子さんが山東省に帰国し哀しみに打ちひしがれていた自分に、彼が元気を出してくださいと励ましてくれました。彼の Smart-Phone をみるとその背景は NBA のバスケットボールマンだったので、自分はどこかバスケットコートを探しましょうかと彼に言いました。すると彼は「バスケットボールでなくてもいいです。先生のできるスポーツなんでもいいので勝負しましょう。」と言ってくれました。なかなかこの発言のできる日本人は少ないのではないかと思います。そこで、中国の国技とも言える卓球を自分は中学・高校としていましたので、「卓球しようよ」と話しはまとまりました。その後、続々と病院の卓球経験者も参加いただき院内卓球サークルを結成することができました。彼のこの一言がサークルを誕生させたといっても過言ではありません。みなさん 近年公開された Top Gun: Maverick という Hally-wood 映画をご存知でしょうか、Mission の期限が近づいている極限の状態での飛行訓練生の心をつなぐために、Tom Cruise は訓練生に Beach Rugby をさせて結束を促しました。スポーツは仕事の結束を強めるために非常に効果的であることを指導者（Tom Cruise）は分かっていたのだと思います。

自分は実は大学（自治医大 2006 年卒）では漕艇部でした。自分の殻をやぶりたくて漕艇部に入りました。ずっと 2 軍ではあったけれども、東医体 3 連覇、宮城国体成人男子の部ベスト 16 をチームは達成しました。彼らと同じ練習量を耐え抜いた自分に今は誇りをもっています。東医体での初優勝、La Dea(自治医大主力艇) (和訳 女神)と DUM SPIRO SPERO (福島医大主力艇) (和訳 この生命ある限り希望を抱く) のゴール前 100m のデッドヒートは今も自分のまぶたを熱くして止みません。そして時は流れ、今は譲君の一言で始まった卓球というラケットの格闘技に夢中です。



右（著者）左（譲君）はまゆう病院卓球サークル誕生の日

みなさんも院内スポーツサークルを初めてみませんか、それはプライマリ・ケア領域の多職種協同の特性にもマッチするものだと私は考えます。「先生のできるスポーツならなんでもいいです」という譲君の勇気ある一言からはじまった、この出会いに感謝します。スポーツは職種をこえて 国境をこえて 仲間を団結させる力があります。私のように 2 か月に 1 回でもいいのです。医師・看護師・療法士といった職種を超えて、そして 日本人・中国人といった国境を超えて団結することができるという感動を自分は今、卓球サークルで実感しています。みなさんもハリウッド映画のように院内スポーツサークルを通じて他職種協同の団結力を強めてみてはいかがでしょうか。

謝意；最後になりましたが、本稿を作成するに当たりご協力いただきました譲君並びに福島医大 OG・阿武隈川の妖精 J 先生に謝意を申し上げます。譲君は私の初期研修した大学の大学院への進学を決め、この春から大学院生となります。譲君の大学院での健闘を心からお祈り申し上げます。

## お知らせ：スタートアップ 2024 にご参加を！

長 哲太郎（コープおおさか病院/大阪市）

今年も家庭医療専攻医を対象にしたスタートアップ企画が 5 月 18 日（土）15 時から行われます。

「プログラムの同期や先輩が少ない」「他のプログラムのことを知りたい」

そんな悩みをお持ちの専攻医の先生はいらっしゃいませんか？

本企画は「繋がり」を大切に、楽しい会にしようとして現在企画中です。今年度は久しぶりの現地参加型ですので、新専攻医の方だけではなく、先輩専攻医の皆さん、指導医の皆様もお誘い合わせの上ぜひご参加ください。

日時：5 月 18 日（土）15 時～18 時

場所：大阪医科薬科大学

専攻医の皆様はご登録と、各プログラム責任者の皆様におかれましてはご案内のほどお願い申し上げます。

[https://docs.google.com/forms/d/1c30x\\_VgijM99\\_wU2udE8Adi0ZNeLEvsBu8wbVjZqp44/edit](https://docs.google.com/forms/d/1c30x_VgijM99_wU2udE8Adi0ZNeLEvsBu8wbVjZqp44/edit)

申し込み期限 2024 年 5 月 11 日（土）正午

## その他

### ●お待ちかねの Podcast エピソード 12 は「赤ひげ」！

KPCA Podcast エピソード 12 は、明日香村国民健康保険診療所の武田以知郎先生にお越しいただきました！

KPCA Podcast 012\_Dr Ichiro Takeda, Akahige Red Beard Doctor

[vol.1](#)

[vol.2](#)

[vol.3](#)

[vol.4](#)

[vol.5](#)

[vol.6](#)

学生時代のエピソードから総合診療医を目指すまで、「人」を診て、「家族」を診て、「地域」を診る視点を身につけるまで、「地域」の様々なステークホルダーとの協働などについて、時代の変遷とともに武田先生自身が変化されていくエピソードが、楽しくユーモラスに語られています。

武田先生は、2023年、第12回「日本医師会 赤ひげ大賞」を受賞されました。おめでとうございます！

2021年度より支部活動や会員の状況、プライマリ・ケアの歴史、などを報告するニュースレターの取り組みの一環として Podcast の配信を行っています。

## ●近畿ブロックのレジェンドたちのライフヒストリー&感動秘話

- # 1 石丸裕康 先生
- # 2 木戸友幸 先生
- # 3 中山（畔田）明子 先生
- # 4 雨森正記 先生
- # 5 鈴木富雄 先生
- # 6 松井善典 先生
- # 7 竹中裕昭 先生
- # 8 三澤美和 先生
- # 9 若槻優真先生 稲田有作先生 浦田恵里先生
- # 10 吉本清巳先生、および第35回近畿地方会の実行委員会のみなさま
- # 11 大島民旗先生、川島篤志先生、稲岡雄太先生（第36回近畿地方会大会長、実行委員長/副委員長）



をゲストに迎え、順調にポッドキャスト収録が進んでいます。ぜひ一度お聞きください。

### ----- LEGEND of GP in KPCA -----

日本プライマリ・ケア連合学会、近畿ブロックに所属、近畿で活躍するプライマリ・ケアプロバイダーたちをゲストにお招きし、これまでの変遷、今現場で感じていること、そして、未来に向けて、ざっくばらんなトークを繰り広げることで、近畿ブロックのみならず、日本全国のプライマリ・ケアに従事する方々に「元気」と「勇気」を持ってもらう番組です。 <https://podcasters.spotify.com/pod/show/kpca>

## ●近畿ブロックの研修支援関係

近畿ブロック専攻医のための研修パスポート「KONPass」も Peatix で販売中です。

これは、春のスタートアップ企画、秋のブラッシュアップセミナー、冬のポートフォリオ発表会、といった3大イベントへの参加に加えて、日々の外来振り返りや、オンライン指導医とメンタリングも、バーチャル医局を用いて、回数制限なくできてしまう、近畿専攻医だけの特別なパスポートです。（年会費 3000 円）

2024 年度分も販売が開始になっています。ぜひ専攻医の皆様はこちらをフォローして、チケットの購入をお願いします。 <https://ut3p2024.peatix.com/view>

そして、指導医の皆様も、ぜひフォローをお願いいたします。（指導医の皆様はチケットを購入しないでくださいね。）

## ●ドクター体験プロジェクト 2024 も行います！

近畿にある医学部、大学の低学年向けにプライマリ・ケアの現場に飛び込んでもらう「ドクター体験プロジェクト」の取り組みを 2024 年度も行います。

また代議員の皆様にお受け入れの依頼をしていますので、何卒ご協力のほどよろしくお願いいたします。

## ニュースレター編集委員大募集！！

KPCA 近畿ブロック ニュースレター編集部では、近畿ブロック支部や各府県支部の取り組み、会員のみなさまの近況などを中心に編集作業に取り組んできました。3ヶ月毎、年4回の発行を行っており、本誌 2024 年春号は 43 号にあたります。引き続き、様々な立場、役割を担っている会員のみなさまの活動を幅広く取り上げていくことができると考えております。

ニュースレターの編集にご興味のある方、一緒に面白い記事を作成してみようと思った方は、編集部

[kentaroasakura@gmail.com](mailto:kentaroasakura@gmail.com) 朝倉 までご一報下さい。

## 読者の声

いつも地域のたくさんのイベントや活動報告を、写真を交えて知ることができて励みになっています。自分にもできそうな取り組みはないかなあと特集をオンラインのバックナンバーで読んだりしています。(若手医師)



**編集部:** ありがとうございます。私たちでも思いつかないようなバックナンバーの利用方法です。

素晴らしいです！

[支部からのご連絡] [ブロック支部活動について皆様からのご意見やご提案をお待ちしております！](#)

**近畿ブロック支部・各府県支部・公認グループ活動のホームページが更新されました！**

<http://www.primary-care.or.jp/primarycare-kinki/> 是非、アクセスしてみてください。

(学会トップページ <http://www.primary-care.or.jp> 上部メニュー「講演会・支部活動」から)

→ 詳細は、上記ホームページをご参照願います。

ホームページ担当：梶原信之